



平素は本市の教育・保育行政にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

鶴舞こども園については、令和2年4月より民間移管を実施し、「公私連携幼保連携型認定こども園 鶴舞やまとこども園」として運営が開始されています。

この度、鶴舞やまとこども園育友会、社会福祉法人郡山双葉会、奈良市において、令和3年度第二回目となる三者協議会を、令和3年11月29日に開催いたしましたので皆様にお知らせいたします。

【三者協議会概要】

日 時：令和3年11月29日（月）9時20分～11時00分

場 所：鶴舞やまとこども園保育室

協議事項：（1）意見書の回答の進捗状況について
（2）その他

報告事項：（1）2階ホールパーテーション設置報告
（2）交差点の看板設置の現状報告
（3）重要事項説明書の報告

1 三者協議会の内容について

◇意見書の回答の進捗状況について

昨年度に鶴舞やまとこども園ほし組保護者有志より、奈良市及び法人に対して意見書が提出され、それに対して回答を行っています。このことについて、その後の対応及び検討状況の確認・協議を行う必要があるとの事から、この度の三者協議会の議題として協議を実施することとなりました。

① 保護者懇談会に代わる保護者意見を聴取する方法について

【郡山双葉会より】

コロナ禍の中でもクラス懇談会の実施を検討してはいましたが、これまでの新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、懇談会を実施していませんでした。その代替として、毎月のドキュメンテーションの設置やコモンでの日々の保育内容を配信することにより、少しでも園の様子をお伝えできるようにしました。

【育友会より】

ドキュメンテーションは、日々の教育・保育の内容を保護者が知るためのものと思っていたため、懇談会の代わりとは認識していませんでした。コロナ禍で保護者が集まるのが難しいことは理解できますが、意見箱の設置だけでなく、園と保護者の相互関係が成り立つような書面のやり取りやクラスだよりの発行回数を増やすなどの対応を検討いただく必要があるのではないのでしょうか。

【郡山双葉会より】

保護者の意見を聞く機会などをしっかりと検討していきたいと思いますが、今後の感染症の拡大状況によって対応も変わるため、例えばZOOM等を活用してオンライン懇談を実施するなどの提案は可能でしょうか。

【育友会より】

保護者にオンライン環境が整っている事が前提となります。なお、小学校ではタブレットが配布されており、今年度はそれを用いてオンラインで懇談が実施されましたが、一方的な配信であったため、対面で行う際の意見を交換するという印象とは少し違ったように感じました。

② 園児間トラブルに対する園の対応方法について

【郡山双葉会より】

園児が関わるトラブルや怪我については、園の方針を理解いただきやすいように現在マニュアルを作成中です。園児同士のトラブルについては、保育教諭が双方の話や友達の意見を聞くことにより、園児が互いの気持ちを理解し合うことで解決を図って参りました。これは、以前の公立園でも同じことがいえると思います。今回の問題点は、トラブルの内容をオープンにすることと迅速な対応の2点となりますが、園児同士のトラブルで最優先すべきことは、原因の究明と園児が互いの気持ちを理解し合い納得できる解決を図ることであり、それが行われる前に関係する保護者の方に全てを伝えることは、時として保護者同士の関係を悪化させる原因にもなります。マニュアルには問題の2点について園の方針を詳しく記載し、保護者及び保育教諭が共通理解のうえで進めて参りたいと思っています。

【育友会より】

子どものトラブルについて園や先生からの説明がなく、先に子どもから聞くことがあります。原因究明中であればそのことを説明するなど、当日の内に簡単な状況や現状の説明をすることをマニュアルにも記載し、双方の保護者に対してもしっかりと対応していただきたいです。

【郡山双葉会より】

保護者に対して、起きたことの概要と現状をお伝えすることは前提と考えているため、作成中のマニュアルにも記載し、当日中に原因究明ができなかった場合でも後日にしっかりと対応していきたいと思っています。

③ 園が思う鶴舞の良さ、鶴舞を継承している部分について

【郡山双葉会より】

鶴舞やまもとも園では、奈良市立鶴舞こども園時代の『自然の中で育ちあい、子どもの発想やひらめきを大切に、自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく力を育めるような、乳幼児における教育及び保育』を引き継ぎ、子どもたちが現代社会の急激な変化にも対応できるような大人になるための礎を築けるよう、日々努めております。子ども達は自然のもの、こと、人とかかわる経験の中で豊かな情動を身につけ、相手の思いになって考えたり、自然を大切にしたりする心情や態度が育まれます。これまで大切にしてきた鶴舞らしさを引き継ぎ、保育者は自然のおもしろさや不思議さを感じ知的好奇心を満足させるような言葉掛けを工夫しています。

【育友会より】

園児の発達に応じた教育・保育の提供や園としての統一感という事はこれまで何度も伝えてきましたが、難しいことを求めているわけではありません。例えば、年少から年長にかけて段階的に生活習慣が身につくこと、普段の制作物や発表会などの内容でもできることが増えるなど、成長が見られるような簡単なものを想定しています。これについても、園長や主幹の先生が主導していただくことで、園として段階的な取り組みを行うなどの統一感を持たせてほしいと考えています。また、これまでは遊びの時間の中にも縄跳びの練習などの教育的視点を持ったことが行われていました。そういった教育的視点を持ったものも考えていただきたいと思っています。

【郡山双葉会より】

これまで行われていたことが変わっているのであれば、どういう意図をもって実施されているのか、先生たちもしっかりと説明できるようにしていく必要があると思います。そういった視点を管理職がしっかりと持ったうえで園として対応する必要があったのではないかと思います。

④ 先生方の配置替えについて

【郡山双葉会より】

職員の年度内の配置換えについては、当初一時的なサポートとして職員配置の変更をしていたため、保護者へ連絡をしていませんでしたが、ほぼ固定となっているのが現状です。職員を元のクラスへ戻せるように職員募集を行っていますが、採用には至っておりません。今後は、年度内の配置換えについては、変更するクラスの保護者に対し、口頭での説明を行ったうえで全体への連絡は園だよりやコドモン等を活用してお知らせして参りたいと考えています。

【育友会より】

園の様々な事情により先生の配置が変わる事は理解出来るのですが、保護者に対して説明が無いまま変更されていることが今年度においてもあったので、変更する事を説明した上で実施いただきたいと思っています。

⑤ 地域への回覧について

【郡山双葉会より】

園だよりの回覧については、防犯上の指摘があって以降は実施していませんが、園の大きな行事やその他園の活動情報、地域の民生さんとの活動など必要に応じて防犯面にも考慮した上で回覧を行っていくことも検討しています。

【育友会より】

昨年度は、降園時間が掲載された園だよりがそのまま地域に回覧されていたことから、防犯上の指摘がありました。地域とのコミュニケーションの一環として、内容は精査したうえで年に数回でも良いので報告があってもいいのではないのでしょうか。

【郡山双葉会より】

園の活動を再度地域で回覧いただく場合でも、これまでの経緯をしっかりと確認し、回覧する内容を精査したうえで園の活動をご理解いただけるような内容の回覧をお願いしていきたいと思います。

⑥ 園からのお知らせについて

【郡山双葉会より】

令和3年度に入ってから、コドモンを活用して次月の行事を更新し、コロナ禍であっても日々の保育活動を出来る限り周知できるように保護者に対して情報配信を行っています。また、登美ヶ丘中学校地区の広報誌の裏面のスケジュールに掲載することや、防犯面にも考慮したうえで毎月の地域の会議の中でも地域と関連のある行事などの告知は実施していきたいと考えています。

【育友会より】

以前から園の報告や周知が必要なことに対する連絡が遅いと感じています。直近の事例を挙げると、遠足のしおりの配布が前日となったことで準備が間に合わなかった人もいました。せめて準備が必要な連絡については早めに連絡できるように対応していただきたいです。

【郡山双葉会より】

連絡や配布物が遅くなっていることについては、保護者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしてまことに申し訳ございません。改善策として令和4年1月より民間の園で20年以上の実務経験を持つ常勤の事務職員を配置し、改善をはかっていきます。

⑦ 公私連携だよりについて

【郡山双葉会より】

園のホームページ上の公私連携だよりについては、確認しやすいメニューの場所に掲載する事を検討して現在業者にも確認を行っているところです。また、ご指摘いただいていた誤字部分の修正についても対応依頼を行っています。

【育友会より】

園の入園を検討される方に対して、公私連携施設であることや三者協議会のことをお知らせしておいた方がいいのではないかとということで、検討をお願いします。

⑧ 学校評議員制度の評価結果や改善状況について

【郡山双葉会より】

令和3年度の学校評議員会は学期ごとの開催を予定しており、学校評議員が実施する評価結果については2学期に実施する保護者アンケートの結果も踏まえて年度末に園のホームページに公表する予定をしています。

【奈良市より】

学校評議員制度については、年間を通じて園の行事や日々の教育・保育の状況などを実際に見学いただきながら、園が2学期に実施する保護者アンケートの結果も踏まえてご意見や評価をいただくことになっています。

【育友会より】

昨年度は実施されていませんでしたが、今年度実施され公表されるということであればいいと思います。

⑨ カリキュラムを浸透させる方法について

【郡山双葉会より】

園の保育理念や教育目標の浸透については、日々の保育の中での振り返りや園内研修、事例検討会などを定期的実施し、園で大切にしていきたいこと、目指す子どもたちの姿を明確にし、職員間で共有できるように、また、園全体で統一感をもって保育・教育が実施できるように努めています。

保育指導計画を作成するにあたり、奈良市立鶴舞こども園の指導計画や奈良市立こども園カリキュラム、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を参考にしながら、幼児期においては1年を4期に分け、発達段階に合った計画となるよう作成し、実施しています。

計画から、振り返り、改善を繰り返し実施し、より良い保育指導計画を作成し実施できるよう努めているところです。奈良市保育アドバイザーには、保育指導計画を作成するにあたり、年齢や発達に合った計画を作成できるように、また行事につきましても年齢や発達に合ったものであるのかを一緒に検討していただきながら進めています。更に、職員との共有の方法や研修の方法、進め方などについてもアドバイスいただきながら実施しているところです。

【育友会より】

園の方針やカリキュラムの浸透については、主幹の先生が担っていかれるものと思っていますが、担任の先生の独自性による部分や現状を把握されていないことも多いと感じています。園としての統一感を持たせるためにも、積極的に先生の指導にあたっているのかという部分も奈良市の保育アドバイザーには確認してサポートしていただきたいです。

【奈良市より】

年度当初の4月5月の関わり方から、現状は週1回程度、訪問若しくは主幹の先生に市の方にお越しいただき、相談対応等を行っています。これについては、主幹の先生に集中的に相談対応やアドバイスをを行い、そこから各先生方へ発信していただくことで園の統一感が醸成できると考え、実施しています。また、法人としても主幹の先生がより教育・保育の内容に注力できるように、事務職員の配置を検討し、対応いただいているものと考えています。

【育友会より】

新たな事務員の配置を進めていただいている事はとてもいい事だと思いますが、今いる子どもたちのためにもスピード感を持って対応いただきたいと思います。また、奈良市も園からの話だけでなく、保護者の意見を直接聞く機会を設けていただいてもいいのかなと思っています。

【奈良市より】

奈良市としても保護者アンケートを実施し、保護者のご意見を聞く機会を設けています。今後も育友会の皆様とも相談させていただきながらアンケートの実施も検討していきたいと考えています。

また、保育アドバイザーの訪問の際には限られた時間の中でしっかりと保育内容に関わっていただきたいという思いからも、ご意見は市の方にお伝えいただければ、保育アドバイザーや法人とも情報共有しながら進めていきたいと考えています。

【郡山双葉会より】

いただいたご意見に関しては、市とも法人とも共有しているため、園の方に直接お伝えいただいても結構です。法人としても、職員の補完や対応についても検討して進めているところであり、育友会の皆様のご意見を伺える機会なども設けていければと考えています。

◇その他

◆ジャングラミングについて

【育友会より】

ジャングラミングでの事故により、園児が怪我をするなどの事象が発生していますが、安全確保に関する対策は検討いただいていますか。

【郡山双葉会より】

ジャングラミングは、一般的な遊具より遊びの幅や体幹を鍛えることの自由度が高い反面、危険度も高くなっています。園児の怪我については職員間でも問題として共有しており、自由遊びの際に職員が目全てに行き届かない場合は遊ぶ場所を制限することにより、職員配置を手厚くして見守ることができるようしていきたいと考えています。

◇2階ホールパーテーション設置報告について

【郡山双葉会より】

11月20日にホールとの仕切りとして、カーテンの設置が完了しました。これについては、あくまでも妥協案として協議を進めていただいた令和3年度育友会様の協力もあったことと感謝しています。また、検討中には想定してなかった、音楽会のステージ位置の変更も可能となる見込みであり、有効に活用方法を検討していきたいと考えています。

◇交差点の看板設置について

【郡山双葉会より】

施設整備の完了後に、園に関係のない車やトラックが駐車場に迷い込む事案がありました。公道に民間法人が看板を設置することは難しく、私有地に設置すべきとの事から、別の対応案を検討しているところです。また、園の入口正面の柵に簡易なラミネートで園名を表示した効果もあり、侵入車両はかなり減少しております。現在はその場所に、より大きな園名を表示する看板の設置を検討しています。

◇重要事項説明書について

【郡山双葉会より】

重要事項説明書について、前回の三者協議会でいただいたご意見を基に案文を作成し、できれば1月中に保護者の皆様に配布したいと考えています。また、「全保護者に対して説明したうえで導入いただきたい」との意見もいただいたことから、配布する際には書面を添付して配布する予定をしています。

鶴舞やまとこども園に関する問合せ

[担当] 社会福祉法人郡山双葉会 (担当) 生田
鶴舞やまとこども園 (担当) 浅野・幸田

[TEL] 0742-45-4753

[鶴舞やまとこども園HP] <https://koriyamafutabakai.or.jp/introduction/tsurumai-yamatokodomoen/>

[幼保再編に関するHP] <https://www.city.nara.lg.jp/site/youho-saihen/9811.html>

民間移管に関する問合せ

[担当課] 奈良市子ども政策課
(担当) 小林 ・ 高野

[TEL] 0742-34-4792

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp